

第4回

日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション・デザイン研究会

「大学教員の研究費・論文・知財・産学連携における環境と状況」

材料の本質はもの作りであり、プロセッシングは、すべての研究に共通する必然です。また必要なマテリアルデザインの実現のためには、最適なファブリケーションデザインがなければ、達成することはできません。材料開発を効率的に進めるために、研究費や論文、知財、産学連携を構築するためにも、ファブリケーションデザインの円滑化・最適化は重要です。現在、様々な分野領域に学び、特定の分野の既存概念を打破する様々な材料や分野が融合した分野領域縦横断型の開発によって新しい材料やプロセスの創出し、単分野では対応できない諸問題の解決を実現することが必要であり、大学において最先端の研究開発を行うためには、開発のための予算獲得や産学連携の比重も大きくなってきております。今回は、大学関係の4人の講師に、研究開発・研究費・論文・知財・産学連携というキーワードで最新の研究動向と現状の問題点、今後の展望を講演いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

主 催：日本セラミックス協会MFD研究会

協 賛：化学工学会反応工学部会ソノプロセス分科会

日 時：2018年1月15日月曜日 13:40～17:30(講演会)

18:30～(懇親会・場所未定)

場 所：東北大学金属材料研究所 国際教育研究棟2階セミナー室2

参加費：講演会無料(懇親会費は別途)

プログラム

13:40 開会

13:50～14:35 『論文ステータス向上に向けた材料科学系ジャーナル分析』

武田浩太郎 助教 東北大学大学院工学研究科研究企画センター研究企画室

14:35～15:20 『大学の研究・教育機関としての役割と産学連携の両立を考える』

早川俊昭 教授 東北大学多元物質科学研究所物質・デバイス領域共同研究拠点

15:30～16:15 『ナトリウムを用いた材料開発における研究環境』

森戸春彦 准教授 東北大学金属材料研究所

16:15～17:00 『産学・産官学連携における予算獲得と大学の環境』

林 大和 准教授 東北大学大学院工学研究科

17:00～17:30 全体討論『現状への対応・対策』

18:30～ 懇親会

申込・連絡先

980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-07

東北大学大学院工学研究科応用化学専攻 林 大和

TEL:022-795-7226 E-mail:hayashi@aim.che.tohoku.ac.jp